

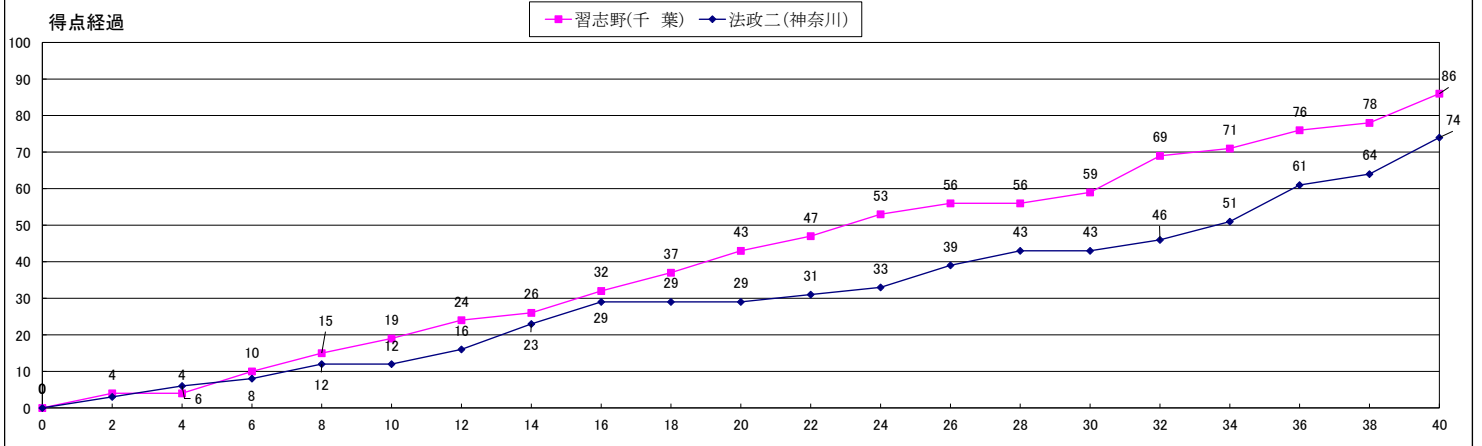
試合No.	D1	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会													
		期 日	令和4年6月5日(日)				会 場		小田原アリーナ							
男子2回戦		CC	管 祐介				U1		風間 吉則		U2		三浦 弘義			
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計			
		法政二(神奈川)					12	17	14	31			74			
		習志野(千葉)					19	24	16	27			86			

法政二(神奈川)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
高橋 昂汰	5	5	1	4	25%	1	3	33%	0	0		0	0	1	0	0	0	0
伊藤 航人	9																	
境 碧空	* 20	14	2	7	29%	2	4	50%	4	7	57%	2	0	0	0	0	3	2
虻川 唯人	22																	
石橋 仁提	23																	
近藤 維吹	29	4	0	0		1	4	25%	2	2	100%	0	2	0	0	0	1	0
中村 勇人	31																	
菅野 汰樹	* 32	12	0	3	0%	6	9	67%	0	2	0%	0	6	6	2	0	0	2
西山 大貴	36																	
湯川 稜平	* 38	8	2	5	40%	1	3	33%	0	0		4	5	1	0	0	3	2
日吉 大空(CAP)	44	8	2	4	50%	1	1	100%	0	0		0	3	0	0	0	2	0
松本 太希	50																	
三谷 蓮斗	* 77	2	0	2	0%	1	4	25%	0	0		2	3	3	1	0	0	5
武川 暖	* 80	21	5	11	45%	3	10	30%	0	0		1	5	2	3	1	1	3
小林 琉輝	99																	
コーチ 鈴木 恭平																		
合計		74	12	36	33%	16	38	42%	6	11	55%	9	24	13	6	1	10	14

習志野(千葉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
石田 海斗	7	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	1	0	1	0	0	0
鈴木 悠真	9	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
吉田 琉人	10																	
田中 一馬	* 11	8	0	3	0%	3	7	43%	2	2	100%	0	4	5	0	0	4	2
永井 空	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小野 瑛太郎(CAP)	* 14	33	6	13	46%	6	15	40%	3	3	100%	3	6	3	0	0	1	2
加藤 広樹	15	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
須賀 旺祐	* 19																	
田口 優翔	25	3	1	1	100%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	2
窪田 葵	29	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
内山 叶人	* 33	24	0	1	0%	11	13	85%	2	5	40%	7	16	0	1	0	5	2
橋本 雅楽	64	5	1	4	25%	1	2	50%	0	0		0	1	0	1	0	0	0
岡崎 大智	90	7	0	1	0%	3	4	75%	1	2	50%	0	0	2	0	0	2	2
森下 杏里	91	2	0	0		0	0		2	2	100%	0	0	0	0	0	2	0
高木 隆成	* 98	0	0	0		0	0		0	2	0%	0	3	1	0	1	3	0
コーチ 秋元 啓人																		
合計		86	8	24	33%	26	44	59%	10	16	63%	10	32	11	3	1	17	10



戦評

1Q お互いマンツーマンでの立ち上がり、法政二は連続3pts、対する習志野は#14を中心に得点を重ねていく。習志野#14#33の連続バスケットカウントなどで習志野がリズムを作り、ディフェンスでも24秒バイオレーションをとるなど、主導権を握る。そのままテンポよく得点を重ね、19-12習志野リードで1Q終了。

2Q 2Qの立ち上がり、法政二はオールコートゾーンプレスをししかけ#44#80の連続3ptsなどで徐々に点差を縮める。対する習志野も#14の連続3pts#33のゴール下などで引き離す。流れを変えたい法政二はタイムアウトを請求するが、習志野の速攻などが決まり43-29習志野リードで前半終了。

3Q 後半の立ち上がり、前半の良い流れのまま習志野は得点を重ねていく。開始3分、習志野#14の3ptsが決まり点差は20点に広がる。ここで法政二はタイムアウトを請求する。タイムアウト後、法政二の連続得点などで差を縮めるが、習志野#14を中心に得点をし、流れを渡さない。59-43習志野リードで3Q終了。

4Q 法政二はオールコートプレスからミス誘いを#80の3ptsや速攻などで差を縮めるが、習志野も落ち着いて対応をし、ゲームをコントロールする。法政二も最後まであきらめずリングにアタックし続けるが、勝負所での得点力が光った習志野が86-74で勝利した。